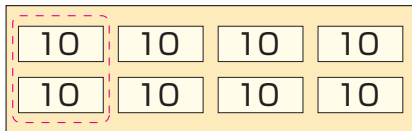




◆何十でわるわり算

80 ÷ 20 の計算のしかたを考えましょう。

① 図を見て、計算のしかたを考えましょう。

20 ずつ^{かこ}囲んでいくと…。

$$80 \div 20 = \boxed{4}$$

② 80 ÷ 20 は、10 をもとにすると、 $\boxed{8} \div \boxed{2}$ とみることができます。80 ÷ 20 の^{しょう}商は、 $\boxed{8} \div \boxed{2}$ の^{しょう}商と等しくなります。

140 ÷ 40 の計算のしかたを考えましょう。

① 10 をもとにして考えると、

$$14 \div 4 = \boxed{3} \text{ あまり } \boxed{2} \text{ だから,}$$

$$140 \div 40 = \boxed{3} \text{ あまり } \boxed{20}$$

10 をもとにした計算で
2 あまったのだから、
あまりは 2 ではないね。

② 答えのたしかめをしましょう。

$$\boxed{40} \times \boxed{3} + \boxed{20} = \boxed{140}$$

わる数 × ^{しょう}商 + あまり = わられる数





◆ 2 けた ÷ 2 けたの計算

折り紙が 68 まいあります。1 人に 21 まいずつ配ると、
何人に分けられて、何まいあまるでしょうか。

- ① どんな式で求められるでしょうか。

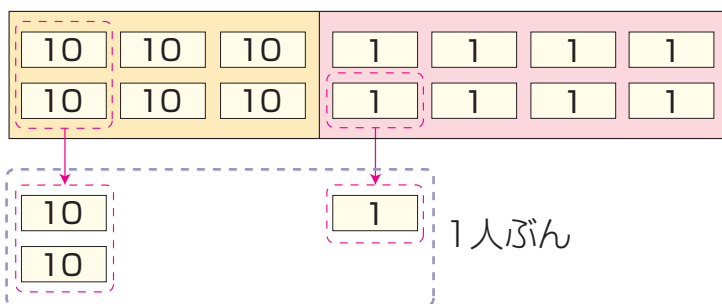
しき
式

$$68 \div 21$$



68 の中に 21 がいくつあるかを考えるのだから…。

- ② 図を見て、計算のしかたを考えましょう。

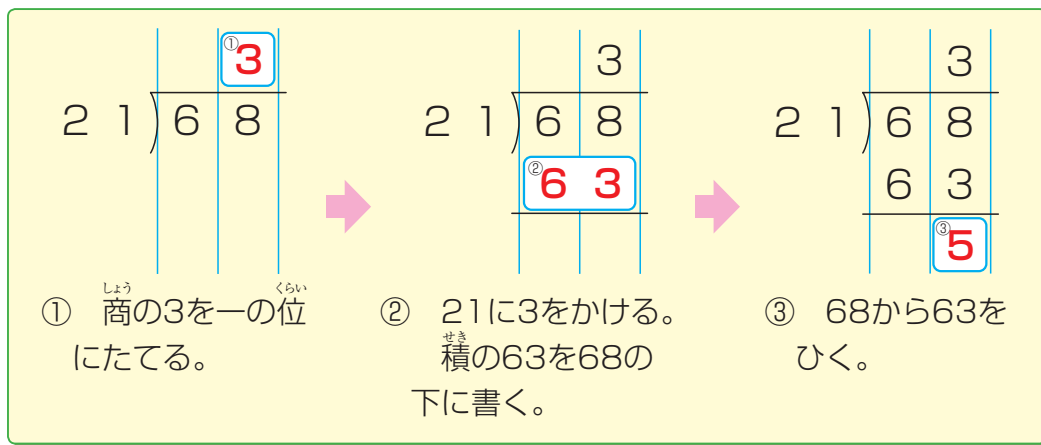


がいくつあるかな。



答え **3** 人に分けられて、**5** まいあまる。

- ③ $68 \div 21$ の筆算は、次のようにします。



わる数の 21 を 20 とみて、68 の中に 20 がいくつあるかを考えると、かんたんに商の見当がつけられるよ。

- ④ 答えのたしかめをしましょう。

$$21 \times 3 + 5 = 68$$

わる数 × 商 + あまり = わられる数



◆商の見つけ方

しょう 商 にどんな数がたつか見当をつける方法を考えてみましょう。

①

			2
4	2	8	5
		8	4
			1

わる数の 42 を 40 とみると、
85 の中に 40 が 2 こ入るので
しょう 商 には 2 をたてます。

②

			2
3	2	9	5
		6	4
		3	1

見当をつけたしょう 商 が大きすぎたときは、
しょう 商 を順に小さくして、正しいしょう 商 を見つけます。

・ わる数の 32 を 30 とみて見当をつけると…。

3	→	2
3 2	7	9 5
	9 6	
	ひけない。	

・ わる数の 14 を 10 とみて見当をつけると…。

7	→	6	→	5	
1 4	7	1 4	7	1 4	7
	9 8		8 4		7 0
	ひけない。		ひけない。		ひける。

③

			5
1	4	7	2
		7	0
			2

④

			4
1	8	7	5
		7	2
			3

わる数を大きめにみてしょう 商 の見当をつけて、順に大きくしてしょう 商 を見つけるほうがかんたんな場合もあります。

・ わる数の 18 を 20 とみて見当をつけると…。

3	→	4	
1 8	7	1 8	7
	5 4		7 5
	2 1		7 2
	わる数の18より大きい。		わる数の18より小さい。

・ わる数の 18 を 10 とみて見当をつけると…。

7	→	6	→	5	→	4	
1 8	7		1 8	7		1 8	7
	1 2 6			7 2			
	ひけない。			ひける。			

◆練習

① $71 \div 23$

			3
2	3)	71
			69
			2

② $85 \div 12$

			7
1	2)	85
			84
			1

③ $65 \div 34$

			1
3	4)	65
			34
			31

④ $95 \div 13$

			7
1	3)	95
			91
			4

⑤ $68 \div 28$

			2
2	8)	68
			56
			12

⑥ $82 \div 16$

			5
1	6)	82
			80
			2

⑦ $176 \div 34$

				5
3	4)	176	
			170	
				6

⑧ $308 \div 53$

				5
5	3)	308	
			265	
			43	

⑨ $135 \div 17$

				7	
1	7)	1	3	5
			1	1	9
				1	6

⑩ $549 \div 26$

			21
2	6)	549
			52
			29
			26
			3

⑪ $786 \div 64$

			12
6	4)	786
			64
			146
			128
			18

⑫ $632 \div 17$

			37
1	7)	632
			51
			122
			119
			3



◆わり算のきまり

36 ÷ 4 と、^{しょう}商が等しいわり算を見つけましょう。

$$\begin{array}{r} 36 \div 4 = 9 \\ \downarrow \div 2 \quad \downarrow \div 2 \\ 18 \div 2 = 9 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 36 \div 4 = 9 \\ \downarrow \times 2 \quad \downarrow \times 2 \\ 72 \div 8 = 9 \end{array}$$

わり算では、わられる数とわる数に同じ数をかけても、同じ数でわっても、

商 は変わりません。



4200 ÷ 60 を、わり算のきまりを使^{つか}ってくふうして計算しましょう。

$$\begin{array}{r} 4200 \div 60 = 70 \\ \downarrow \div 10 \quad \downarrow \div 10 \\ 420 \div 6 = 70 \end{array}$$



10 をもとにしたわり算と同じ考え方だね。



4500 ÷ 800 を、わり算のきまりを使^{つか}ってくふうして計算しましょう。

$$\begin{array}{r} 5 \\ 8 \overline{) 4500} \\ \underline{40} \\ 500 \end{array}$$



あまりは 0 を消^けした分だけ 0 をつけたせばいいね。

4500 ÷ 800 = **5** あまり **500**